

7. プロジェクト・施策の進め方

7-1 実施主体とリスク分担

本計画を進めるにあたって、「住民」、「交通事業者」、「行政」、「関係機関」が連携し、一体となって、計画目標の達成に向けて取り組む必要があります。それぞれの役割分担を明確にし、リスク分担を行いながら新たな交通体系を構築します。

	役割	具体的な対応イメージ
住 民	地域のニーズを行政・交通事業者に伝え、より良い公共交通に変えていきます。また、地域の賑わい創出・不便解消に主体的に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通再編に対する意見・要望 利用促進に向けた協力 住民主体による憩いの場の設置検討、地域内交通の事業化・運営 等
交 通 事 業 者	これまで培ったノウハウを生かし、交通のプロとして安全安心な運行サービスの提供に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 行政との協議による公共交通網形成計画の実現 路線再編、住民ニーズに対する柔軟な対応、スポンサー協力 等
行 政	公平な機会の提供と相談体制の確立、財政支援によって、地域の主体的な地域内交通確保のための取組をサポートします。	<ul style="list-style-type: none"> 市民バスの再編計画策定 バス利用環境の整備 利用促進ツールの作成 等
関 係 機 関	医療・商業・観光等で行政及び公共交通と連携を図り、新たな交通サービスの導入を検討します	<ul style="list-style-type: none"> 商業施設へのバスの乗り入れ 通院・買い物施設をタイアップした割引券の導入 等

7-2 推進・管理体制

本計画に基づくプロジェクト・施策の推進・管理体制は以下の通りです。

推進・管理体制	構成員	役割
白石市地域公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 市民代表者 学識経験者 交通事業者 道路管理者 交通管理者 国，県，隣接市町 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ変化に合わせた地域公共交通の見直し・改善（短期）策の検討を行います。 将来における市の課題、地域のまちづくりの課題を見据え、持続可能な交通体系の構築に向けたプロジェクトの検討（中・長期）等が継続的に協議できる「場」として位置づけます。
地域内交通検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長 まちづくり協議会 民生委員，児童委員 地域住民 白石市 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の実情に応じた地域内交通の検討・確保を行います。 地域住民が憩う場所を設置・提供し、市民のお出かけ意欲を創出します。
白石市庁内検討会	<ul style="list-style-type: none"> 関係各課 	<ul style="list-style-type: none"> 庁内において情報を共有し、本計画をスムーズに推進するため連携を図ります。